

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	救急車リアタイヤのトレッド面に発生したセパレーション現象について
3. 体験した事例の中心的要素	帰署後に実施した目視による外観点検で、左後輪のトレッド面にセパレーション現象が発生していることを発見した。 なお、交代後の運行前点検、走行中の異音、振動等の異常については察知できず、毎月実施している車両点検及び整備業者が行う6か月・12か月・18か月毎の車両定期点検ではタイヤ本体の異常は見られない(溝の深さについては規定範囲内で、トレッド部のひび割れや偏った摩耗は見られない。)
4. 体験した事例の原因・理由	タイヤはトヨタ指定のタイヤサイズでブリッドラック用のタイヤを装着し運用している。タイヤの空気圧は平成29年5月29日 消防庁救急企画室から発出された「救急自動車のタイヤ空気圧の適正な管理について(情報提供)」に記載のとおり充填圧力を、指定空気圧+50kPaを遵守しているため充填空気圧不足は否定する。機関員からは縁石または石に乗り上げたことは無い旨を聴取する。よって救急車両(車両総重量)の荷重に対しタイヤ1本への最大負荷能力オーバーの可能性があると推測する(装着していたタイヤは2019年18週製造で、メーカーのホームページによるとロードインデックスは105L、負荷能力は975kg)。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	
------------------	--

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年9月2日 午後2時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:発生場所は不明、帰署後の車両外観点検で発見したため屋外と思われる。
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他:タイヤの破損
7. 事例体験時の活動	救急 その他:帰署後の外観点検
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他:帰署後
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[50]歳、勤続年数[30]年、現場経験年数[30] 年、階級[消防司令] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[28]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[10] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[34]歳、勤続年数[16]年、現場経験年数[16] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	帰署後の車両外観点検で左後輪タイヤの破損を確認する。	
経過2	当事者B・C	車両から降り、破損箇所を確認。その他異常がないか確認する。	
経過3	当事者A・B・C	スペアタイヤに交換する。	9月5日タイヤ交換4本実施
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

予期せぬ事態であった。早期発見で事故を未然に防ぐことができた。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

ヒヤリハット事例写真

左後輪タイヤ発見時（装着）



タイヤ脱着後変形

